

一般会計歳出（性質別）決算の推移

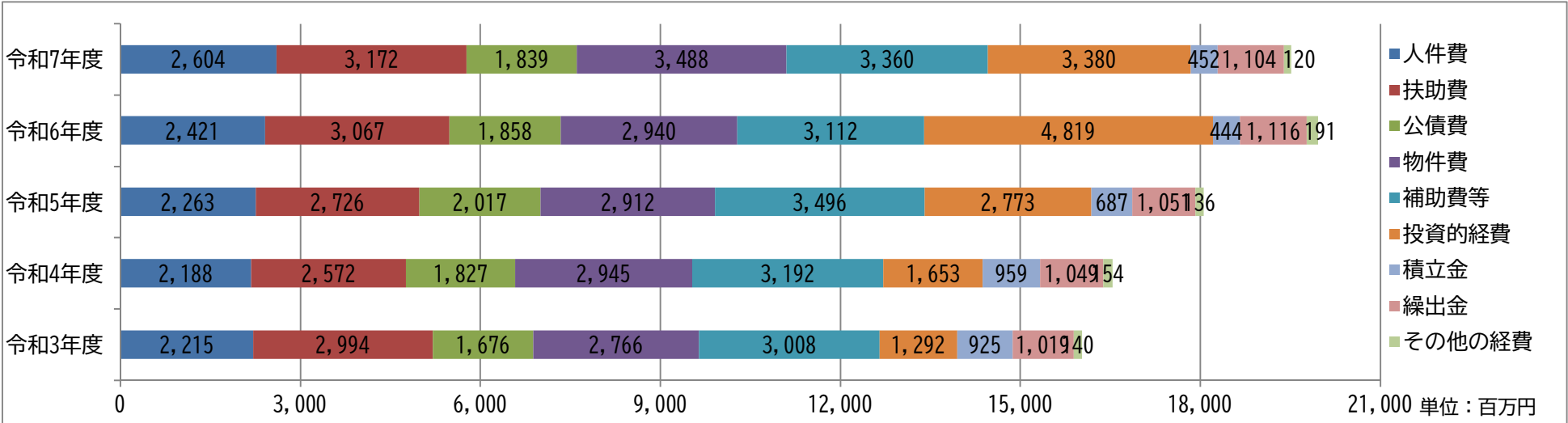
一般会計の歳出（性質別）決算状況について、義務的経費・裁量的経費別に表及びグラフで示しております。

歳出（性質別）決算の特徴、用語の説明も参考にしてください。

（単位：千円）

区分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
義務的経費		6,884,852	42.9%	6,586,827	39.8%	7,006,649	38.8%	7,346,199	36.8%	7,614,667	39.0%
	人件費	2,215,295	13.8%	2,187,852	13.2%	2,263,369	12.5%	2,420,747	12.1%	2,604,224	13.3%
	扶助費	2,993,882	18.7%	2,572,134	15.6%	2,725,903	15.1%	3,067,362	15.4%	3,171,581	16.2%
	公債費	1,675,675	10.5%	1,826,841	11.0%	2,017,377	11.2%	1,858,090	9.3%	1,838,862	9.4%
裁量的経費		9,149,445	57.1%	9,953,342	60.2%	11,053,455	61.2%	12,622,287	63.2%	11,903,568	61.0%
	物件費	2,765,329	17.2%	2,945,426	17.8%	2,911,883	16.1%	2,940,465	14.7%	3,487,944	17.9%
	補助費等	3,007,841	18.8%	3,192,128	19.3%	3,495,824	19.4%	3,111,620	15.6%	3,360,020	17.2%
	投資的経費	1,291,718	8.1%	1,653,491	10.0%	2,772,009	15.3%	4,818,939	24.1%	3,379,639	17.3%
	積立金	925,129	5.8%	959,161	5.8%	687,026	3.8%	444,061	2.2%	451,939	2.3%
	繰出金	1,019,126	6.4%	1,048,942	6.3%	1,050,810	5.8%	1,116,162	5.6%	1,104,284	5.7%
	その他の経費	140,302	0.9%	154,194	0.9%	135,903	0.8%	191,040	1.0%	119,742	0.6%
歳出総計		16,034,297	100.0%	16,540,169	100.0%	18,060,104	100.0%	19,968,486	100.0%	19,518,235	100.0%

* 比率（％）欄は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。



【歳出決算の特徴】

○扶助費は、物価高騰による生活支援や生活困窮者に対する臨時給付金など社会変化に対応した各種事業の増減により、約1億円（3.4％）の増となりました。

○公債費は、元金償還金の増により、約2千万円（1.0％）の減となりました。

○補助費等は、病院事業会計補助金や小規模事業者物価高騰対策支援事業費の増等により、約2億5千万円（8.0％）の増となりました。

○投資的経費は、市営新体育館整備事業費や中央公園整備事業費の減等により、約14億4千万円（29.9％）の減となりました。

【用語の説明】

義務的経費	市の歳出のうち、支出することが制度的に義務付けられており、任意に削減することが容易ではない経費 ⇨裁量的経費
人件費	市の職員の給料や各種委員の報酬等の経費
扶助費	生活保護、児童手当、医療費助成など住民福祉を支えるための経費
公債費	市債（市の借金）のを返済する元金と利子の償還金
裁量的経費	市の歳出のうち、政策によって柔軟に縮減できる裁量性の高い性質の経費 ⇨義務的経費
物件費	指定管理委託料、光熱水費等の需用費など消費的性質をもつ経費
補助費等	峡北広域行政事務組合や各種団体等への負担金、補助金の経費
投資的経費	道路や水路整備、教育施設整備などの工事等の経費
繰出金	国民健康保険特別会計、介護保険特別会計等の運営を支援する経費
積立金	基金（市の貯金）へ積み立てる経費